

正三位勲一等三井 高棟外十三名外國
 勲章記章受領及佩用一件
 右謹テ裁可ラ仰ク
 昭和八年十一月二十八日
 内閣總理大臣子爵齋藤 實



閣



344

昭和八年十二月三日 内閣書記官長



内閣書記官長



内閣總理大臣 奥

賞勲局總裁



諾威國 グランクロアサンオラフ勳章 正三位勳一等 三井 高棟
瑞典國 乙級シエヴァリエーヴサ勳章 外務書記室尾崎 義

國赤十字第一等名譽章

森下 博

國赤十字第二等名譽章 正五位勳三等 司馬享太郎

勳三等 金杉英五郎

東京義塾發森井健介

正六位勳六等 飯田新七

賞 勲 局

獨 國赤十字第三等名譽章

山中定次郎

八田 庄治

石橋 長英

有澤 潤

奥村雅雄

島田 藤

藏田周忠

同 上

右正三位勳一等 三井高棟 外十三名ヨリ頭
書ノ外國勳章、記章受領及佩用ノ儀
別紙ノ通願出候條御允許相成可然

哉此段允裁ヲ仰ク
追テ右ノ内三井高棟外一名ニ對
スル分ハ勲記無之候得共外務大臣
ノ證明書相添ヘ願出候條特ニ御
允許相成候様致度此段副申入

めくれす

外國勲章受領佩用願

高棟儀

諾威國皇帝陛下ヨリ「グラニクロア、サン、オラフ」勲章ヲ
贈與相成候ニ付受領及佩用允許ノ儀被仰出候
様御執奏被成下度依テ別紙供閱物件目錄相添
此段相願候也

昭和八年十一月二十日

正三位勲一等三井 高棟

高
棟

賞勲局總裁下條康磨殿



供 閲 物 件 目 錄

- 一 諾威國「グランクロア、サン、オラフ」勳章 壱
- 一 外務大臣證明書 壱
- 一 愛勲事由書 通具

右受領佩用允許相願候ニ付差出候也

昭和八年十一月二十日

正三位勲一等三井 高棟



裏面白紙

證明第五一號

證明書

正三位勳一等 三井嵩棟

右者諾威國皇帝陛下ヨリ「グラン、クロア、サン、オラフ」勳章ヲ

贈與セラレタルコトヲ證明ス

昭和八年十一月十五日

外務大臣 廣田弘毅



外務省

349

めくれず

受勲事由書

多年諾威國ト三井家トニ商事關係アリ且諾威國
北極探險家アムンゼン氏昭和二年來朝セラレ候際
同氏ニ便宜相計リシ為ノナランカト恩料致シ候

昭和八年十一月二日

三位勲一等三井 高棟



150

外國勲章受領佩用願

小官儀

瑞典國皇帝陛下ヨリ乙級、シエヴアリエー、ワザー勲章
ヲ贈與相成候ニ付受領及佩用允許ノ儀被
仰出候様御執奏被成下度依テ別紙供閱物
件目錄相添此段相願候也

昭和八年十一月六日

外務書記生 尾崎義

賞勳局總裁 下條康麿 殿

351

供 閲 物 件 目 錄

- 一、瑞典國乙級ジエヴァリエー、ワサ勳章 壱個
二、外務大臣叙勳證明書 壱通
三、受勲事由書 壱通

右受領佩用允許相願候ニ付差出候也

昭和八年十一月六日

外務書記生 尾崎 義

めくれず

且

352

裏面白紙

383

第四九號

證明書

外務書記生 尾崎義

右者瑞典國皇帝陛下ヨリ乙級「シユヴァリエ」、ワザ一勳章ヲ贈與

セラレタルコトヲ證明ス

昭和八年十一月七日

外務大臣 廣田弘



外務省

めくれず

受勲事由書

外務書記生トシテ瑞典國在勤ノ慶昭和八年八月同國離任
ニ際シ願書記載ノ勲章ヲ贈與セラル

昭和八年十一月六日

外務書記生 尾崎

義

384

外國記章受領及佩用願

森下

博儀

355

今般獨逸國政府ヨリ赤十字等名譽草贈與相成候ニ付文詔及佩用ノ儀御允許被成下度別紙供聞物件目錄相添ヘ此段奉願候也

昭和八年十一月四日

大阪市東區玉堀町五四三番地

綠綬褒章
全草織成五個
甜枝褒章
拜受者 森 下

實勳局總裁 下 條 奏 簿



め
くれ
ず

356

供閲物件目録

周逃赤十子一等名譽章

全上

二、文草記
草記
草事由
文記草

右文鋪及佩用允許相頼候ニ付差出候也

昭和八年十一月四日

大阪市東淀川区五丁三番地

新綬綬褒章
全章而版五個
甜綬褒章
拜受者 森

傳



壹壹壹壹

通通通個

直

草記譯文

獨逸赤十字名譽標戒、大統領、大元帥、フオン、ベノツケントルフ、
ワント、フオン、ヒンデンブルク閣下ノ承認ヲ以テ、獨逸國赤十字ノ
感謝ト赤十字ノ爲メノ特別ナル功勞ニ屬シ、獨逸赤十字ガ之レヲ認定
スルノ標證トシテノ榮譽ヲ茲ニ著記ス

獨逸赤十字第一等名譽章ヲ受與ス

森下

博販

本證ハ授與セラレタル、當該名譽章ノ被遇ヲ領有スルコトノ認證タ
ルベキモノナリ

一九三三年五月十六日 ベルリンニテ

獨逸赤十字標戒

名

署

357

受 章 事 由 著

獨逸國文化事業に貢する功勞に由り受章

右 之 通 り に 候 也

昭和八年十一月四日

森

下



357

めくれず

外國記章受領及佩用願

吉了太郎儀

今般獨逸國政府領閥下ヨリ赤十字第二等名譽
章贈與相成候ニ付受領及佩用允許、儀被仰出
候様宜敷御執奏被成下度候
依テ別紙證狀並、供閱物件目録相添ヘ此般奉
願候也

昭和七年十月二十五日 正五位勳三等司馬吉了太郎



賞勳局總裁 下條康磨殿



359

供閲物件目録

一 記 章
一 章 記
一 同 譯 文 壱 通
一 受 章 事 由 書 (書類) 壱 通

右受領及佩用允許相願候付差出候也
昭和七年十月三十日

正五位熟三等司馬亨太郎

章記譯文

獨逸國赤十字社名譽總裁フォン・ベンケレドルフウント、フォン
ヒンデンブルグ元帥ノ協賛ヲ經テ下記總裁ハ司馬亨太郎君
ガ獨逸國赤十字ノ爲メ特別功アルヲ承認シ其表彰トニテ
獨逸國赤十字社ノ第二等名譽章ヲ贈與スルノ名譽ヲ
有ス

此證書ハ贈呈セラレタル名譽章ノ授與等級ニ付テノ所有者タル
ヲ証明スルモノナリ。

一九三二年二月二十六日

伯林ニ於テ

獨逸國赤十字總裁

フォン・ウランデル・ルトマンキン

送章事由書

予ハ獨逸國大使館が貴下ニ獨逸國赤十字ノ名譽記章ヲ贈與シタルヲ報ズルヲ榮トス.

予ハ此、表彰ニ關シ貴下ニ祝意ヲ表示ス是レ貴下ガ獨逸學協會學校ヲ統率シ日本ニ於ケル獨逸學普及ノ爲メニ盡シ日獨兩國間ノ親善ヲ增進スルニ關シ努力セラレタルヲ正當ニ承認スルモノナリ

予ハ添附セル名譽記章ト章記トヲ傳達スルノ榮ヲ有ス

一九三二年十月十三日 東京、於テ

獨逸國大使 フォン・フォレーツス
敬具

獨逸學協會學校中學長

司馬殿

外國記章受領佩用願

金杉英五郎儀

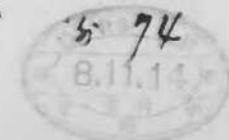
今般獨逸國政符ヨリ赤十字第二等名譽
章贈與相成候ニ付受領及佩用ノ儀御
允許被成下度別紙供閱物件目録相
添此般奉願候也

昭和八年十一月十三日

勳三等金杉英五郎

賞勳局總裁下條康磨殿

めくれす



供閲物件目録

めくれず

一記章

壹個

一章記

壹通

一章記譯文

壹通

一受立章事由書
畫鑑室通

右受領及佩用允許相願候ニ付差出候也

昭和八年十一月十三日

勅三等金杉英五郎

364

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ名譽總裁大統領陸軍
元帥ベニツケンドラウントヒンデンブルグ閣下ノ裁可
ラ得テ下名總裁ハ獨逸ローテンクロイツノ感謝
竝ニローテンクロイツニ對スル格別ナル功績ニ關ス
ルローテンクロイツノ認諾ノ據證トシテ金杉英
五郎殿ニ獨逸赤十字第二等名譽章ヲ
授與スルモノナリ

本證書ハ名譽章ノ授與等級ニ付テノ所
有證タルモノナリ

千九百三十二年六月十四日 伯林

獨逸ローテンクロイツ總裁

エム・フォン・ウインツェル・ヘルド・モキン

受章事由書

貴下ノ日獨學術上ニ貢テノ功績ヲ
表彰スル為ソニ獨逸ローテンクロイツヨリ
貴下ニ贈呈スル名譽章ヲ傳達ス
ルハ余ノ欣幸トスル所ナリ

千九百三十二年十月八日

駐日獨逸國大使

ホレウイツチ

金杉英五郎殿

めくれず

外國記章受領及佩用願

森井健介

今般獨逸國政府
章贈與相成候。三年受領及佩用。儀式允許被成
下度別紙供閱。物件目錄相添。此段奉願候也。

昭和七年十一月七日

東京美術学校教授正五位勲五等

森井健介

賞勳弓箭裁下條康磨殿

367



供閲物件目録

一 記章 未十字弐二年右巻章

壹個

一 章記 未十字弐二年右巻音

壹通

一 同譯文

一 受章事由書

壹通

右受領及佩用允許相願ハ右巻出候也

昭和七年十一月七日

東京美術学校教授在位五十年森井健次

368

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ大譽總裁

大統領陸軍元帥

ベネッケンドルフ、ウント、ヒンデルグ閣下

の裁下を得て下矣然裁、獨逸ローテンクロイツの感謝並、
ローテンクロイツに対する特別なる功績に関するローテンクロイツ
の記録の褒賞とて教授森井健今殿に獨逸赤十字
キニ等外譽章を授與する所す、本證書は外譽章の
授與等級に就ての所す證を有しのすり

一千九百三十三年九月十日

伯林

獨逸ローテンクロイツ總裁

署名

369

めくれず

謹章事由書
書

建築學會及日獨文化協會聯合主催テ新興國際
建築工藝展覽會及講演會開催シ同國新興ノ建
築及工藝ヲ我國ニ紹介スル事、日獨文化交歓、建築
學會管轄ノ展覽會委員トシニ盡カシタル、庶以テ
本名譽五章ヲ賜共相成リタルモニ有上候

昭和七年十一月七日

東京美術学校教授正五位勲五等森井健介

170

外國記章受領及佩用願

飯田新七儀

今般獨逸國政府承認國赤十字第二等
名譽章贈與相成候三付受領及佩用，
儀御允許被成下度別紙供閱物件目
錄相添此段奉願候也

昭和八年七月三十日

正六位勲六等飯田新七

賞勲局總裁下條康磨殿

供閲物件目録

- 一 記 章 獨逸國赤十字第二等名譽章 壱圓
一 章記 獨逸國赤十字第二等名譽章 壱通
一 章記譯文 壱通

一 受章事由書

右受領及佩用允許相願候ニ付差出候也

昭和八年七月三十一日

正六位勲六等飯田新七

壹通

372

章記譯文

獨逸赤十字名譽總裁ベネッケンドルフ
ヒンデンブルク元帥ノ認許ヲ以テ下記
總裁ハ赤十字ノ為ノ特別功績ニ對ス
ル獨逸赤十字ノ感謝注ニ其表彰ト
シテ

飯田新七殿ニ

獨逸赤十字第二等名譽章ヲ贈ル
此章記ハ當該級記章ノ證書トシテ
認メラルベキモノ也

千九百三十三年五月十六日

伯林

獨逸赤十字總裁署名

受章事由書

一獨逸國赤十字第二等名譽章

右ハ景襄ニ京都日獨文化協會設立ニ當リ
其資金トシテ金貳千圓ヲ寄附シタルニ依
リ其功績表彰トシテ受章シタルモノト思
料致候此段申出候也

昭和八年七月三十一日

正六位勲六等飯田新七



めくれす

外國記章受領及佩用願

山中定次郎儀

今般獨逸國政府ヨリ赤十字第二等名譽章贈與相成候ニ付受領及佩用ノ儀御允許被成下度別紙供閱物件目録相添此段奉願候也

昭和八年七月十三日 大阪市東區高麗橋三丁目九番地

株式會社山中商會取締役社長 山中定次郎



賞勳局總裁 下條康磨殿

175

供閲物件目録

記テ章リユーツ 二等賞

一章

記

受章事由書

一章

記

譯文

右

受領及佩用允許相願候ニ付差出候也

昭和八年七月十三日

山中定次郎



壹個
壹通

壹個
壹通

376

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ名譽總裁

大統領陸軍元帥

ベネツケンドルフ、ウント、ヒンデンブルグ閣下

の裁可を得て下名總裁は獨逸ローテンクロイツの感謝並にド
テンクロイツに對する格別なる功績に關するローテンクロイツの認
諾の據證として山中定次郎氏に獨逸赤十字第二等名譽章
を贈與するの光榮を享有す
此證書は贈呈せられたる名譽章の授與等級に付ての所有
證たるものなり

一九三三年五月十六日

獨逸ローテンクロイツ總裁 署名

受章事由書

日獨文化促進ニ貢獻スル所不歎トノ事由ニ依ル

昭和八年七月十三日

山中定次郎



めくれす

外國記章受領及佩用願

八田庄治儀



今般獨逸國政府社長ヨリ
二等名譽章贈與相成候ニ付受領及佩用，
儀御允許被成下度別紙供閱物件目錄相添
此段奉願候也

昭和八年六月二十一日

八田庄治



丸善株式會社取締役

賞勲局總裁下條康磨殿

199

めくれす

供閲物件目録

- | | | | |
|--------|-----|-----------------|----|
| 一記 | 一章 | 章（獨逸國赤十字第二等名譽章） | 壹個 |
| 一章 | 記譯文 | 記（獨逸國赤十字第三等名譽章） | 壹通 |
| 一受章事由書 | | | 壹通 |

右受領及佩用允許相願候ニ付差出候也

八田庄治



昭和八年六月二十日

180

章記譯文

獨逸國大統領元帥赤十字社名譽總裁フオンベネツケンドル
ウントフォンヒンデンブルグ閣下協賛ノ基ニ龙署赤十字
總裁ハ田氏ノ赤十字社ニ對スル特別ノ功績ヲ認
ムルト共ニ獨逸赤十字社謝意ヲ表スル為メ同氏ニ對シ
獨逸國赤十字第一等名譽章ヲ授與スルノ光榮ヲ有ス
本證書ハ授與セラレタル名譽章ノ所有ヲ證スルモノ
ナリ

柏林一九三三年一月十九日

獨逸赤十字總裁

フォンウインテルフエルトメンキン

受章事由書

今般獨逸赤十字社名譽章ヲ贈與
相成リタルハ拙者が日獨文化増進ニ寄與
シタリトノ理由ヲ以テ贈與セラレタルモノト恩料致下

丸善株式會社取締役

八田庄治



昭和八年六月二十一日

外國記章受領及佩用願

石 橋 長 英 儀

今般獨逸國政府ヨリ赤十字第二等名譽章贈與相成候付受領及佩用儀御允許被成下度別紙供閱物件目錄相添此段奉願候也

昭和八年十一月二十日

東京市小石川區原町十一番地

醫學博士 石 橋 長 英



賞勲局總裁下條康磨殿



供閱物件目錄

一一一章記章（赤十字第二等名譽章）

一一一章記

（赤十字第二等名譽章）

一一一章記譯文

右受章事由書

右受領及佩用允許相願候付差出候也

壹壹壹

通通通個

昭和八年十一月二十日

石橋長英



384

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ名譽總裁

大統領陸軍元帥

ベネッケンドルフ、ウント、ヒンデンブルグ閣下

ノ裁可ラ得テ下名總裁ハ獨逸ローテンクロイツノ感謝並ニローテン
クロイツニ對スル格別ナル功績ニ關スルローテンクロイツノ認諾ノ
據證トシテ醫學博士石橋長英氏ニ獨逸赤十字第二等
名譽章ヲ贈與スルノ光榮ヲ享有ス
此證書ハ贈呈セラレタル名譽章ノ授與等級ニ付テノ所有
證タルモノナリ

一九三三年七月八日

獨逸ローテン・クロイツ總裁

署名

385

受章事由書

右ハ獨逸學術普及多年盡瘁シ日獨兩國間
ノ文化的關係貢獻シタル功勞ニ依リ願書記載ノ
記章ヲ贈與セラル

昭和八年十一月二十日

石橋長英



386

めくれす

外國記章受領及佩用願

今般獨逸共和国政府ヨリ赤十字章第一等名譽章贈
與相成候。付受領及佩用ノ儀御允許被成下度
別紙供閱物件目録相添此段奉願候也。

昭和六年七月二十九日

兵庫縣武庫郡精道村打出字寺開地七枚番地

醫師 有澤潤儀

潤儀

賞勳局總裁 下條康麿殿



187

めくれず

供閱物件目録

一一一
章記

記章

獨逸國赤十字二等兵營章

壹

個

一
章記譯文

皮章事由書

壹
通

左受領及佩用允許相願候付差出候也

昭和六年七月二十九日

兵庫縣武庫郡精道村有出字寺閑地七段番地

醫師

有澤潤



188

章記譯文

獨逸赤十字名譽總裁大統領大元帥 フラン・ベネッケンド
ルス ウント フオヌヒンデンブルグ閣下の兼認を以て 獨逸赤
十字の感謝と赤十字の爲の特別なる功勞に關し 獨
逸赤十字が之を認定するの標記としての榮譽を茲に
署記す。

布澤潤殿

獨逸赤十字第二等名譽章を授與す
本証は授與せられたる當該名譽章の禮遇を領
有する事の認証たる(きもの也)

千九百三十年八月十八日 伯林にて

獨逸赤十字總裁 フラン・
ヴィンターフュルト ナンキン

めくれず

受章事由書

獨逸國文化事業に関する功勞に由り受章

右之通りに候也

昭和六年七月二十九日

右
醫師 有澤

潤



330

外國記章受領及佩用願

奥村雅雄

儀 譲 章 譽 名 第二等 十字赤十字ヨリ

今般獨逸國政府贈與相成候。付受領及佩用，儀御允許被成下度別紙供閱物件目錄相添此段奉願候也。

昭和八年十一月二十日

東京市杉並區方南町二百三十三番地

奥村雅雄



賞勲局總裁下條康麿 殿



391

供閱物件目錄

一章記章（赤十字第二等名譽章）

一章記譯文（赤十字第二等名譽章）

一受章事由書

壹壹壹
通通個

右受領及佩用允許相願候付差出候也

昭和八年十一月二十日

奥村雅雄

392

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ名譽總裁

大統領陸軍元帥

ベネッケンドルフ、ウント、ヒンデンブルグ閣下

ノ裁可ヲ得テ下名總裁ハ獨逸ローテンクロイツノ感謝並ニローテン
クロイツニ對スル格別ナル功績ニ關スルローテンクロイツノ認諾ノ
據證トシテ奥村雅雄氏ニ獨逸赤十字第二等名譽

章ヲ贈與スルノ光榮ヲ享有ス

此證書ハ贈呈セラレタル名譽章ノ授與等級ニ付テノ所有
證タルモノナリ

一九三三年七月八日

獨逸ローテンクロイツ總裁

署名

受章事由書

右ハ獨逸學術普及ニ多年盡瘁シ日獨兩國間
文化的關係貢献シタル功勞依リ願書記載ノ
記章ヲ贈與セラル

昭和八年十一月二十日

奥村雅雄



334

めくれす

外國記章受領及佩用願

島田 藤儀

今般獨逸國政府閣下ヨリ赤十字第二等名譽章贈與相成
候三月受領及佩用ノ儀御允許被成下度別紙供閱物件自錄
相悉此段奉願候也

昭和八年九月四日

東京市麻布區宮村町十番地
建業精舎

島

田

藤



795

實勲局總裁下條康磨啟

供閲物件目録

- 一 記章 赤十字第二等名譽章 壱個
- 一 章詰 赤十字第二等名譽章 壱通
- 一 全譯文

一 簿章事由書

右受領及佩用允許相頼候二件差出候也

昭和八年九月四日

島田

藤



東京市麻布高宮村町十番地

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ名譽總裁

大統領陸軍元帥

ベニツケンドルフウントヒンデンブルグ閣下

の裁可を得て下名總裁は獨逸ローテンクロイツへ感謝並に「ローテン
クロイツに對する格別なる功績」に関するローテンクロイツの認諾の
據證として島田藤殿に獨逸赤十字第二等名譽章を授與す
するものなり。本證書は名譽章の授與等級に付てハ所有證たる
ものなり。

于一九三六年九月十日

獨逸ローテンクロイツ總裁
署名

めぐれず

慶章事由書留書

建築學會及日獨文化協會聯合主催^ヲ以テ新興獨逸建築工藝展覽會及講演會^ヲ開催シ全國新興ノ建築及工藝^ヲ我國ニ紹介スルト共三日獨文化ノ交換ニ建築學會委員トレテ盡力シタルノ廉^ヲ以テ本名譽章^ヲ贈與相成リタルモノニ有之候

昭和八年九月四日

東京市麻布區宮村町千番地
島田 藤



398

外國記章受領及佩用願

藏田周忠儀

今般獨逸國政府閣下ヨリ赤十字第弐等名譽章贈與相成候ニ付受領及佩用儀御允許被成下度別紙供閱物件目録相添此段奉願候也

昭和八年八月十九日

東京市澁谷區猿樂町五十五番地

藏田周忠



賞勳局總裁下條康麿殿

399

供閲物件目録

一、記章 赤十字第三等名譽章 壱個
一、章記 赤十字第三等名譽章 壱通

同譯文

一、受章事由書

壹通

右受領及佩用允許相願候付差出候也

昭和八年八月十九日

截田周忠

400

章記譯文

獨逸ローテンクロイツ名譽總裁

大統領陸軍元帥

ベネッケンドルフウントヒンデンブルグ閣下
の裁下を得て下名總裁は獨逸ローテンクロイツの
感謝並に「ローテンクロイツに對する格別なる功績」
に關するローテンクロイツの認諾の據證として
藏田周忠殿に獨逸赤十字第貳等名譽章
を授與するものなり本證書は名譽章の授
與等級に付ての所有證たるものなり

十九百三十二年九月十日

獨逸ローテンクロイツ總裁

署名

記章受章事由書

建築學會及曰獨文化協會聯合主催ヲ以テ
新興獨逸建築工藝展覽會及講演會ヲ開
催シ同國新興、建築及工藝ヲ我國ニ紹介ス
ルト共ニ日獨文化、交換ニ建築學會管事
及委員トシテ盡力シタルノ廉ヲ以テ本名譽
章ヲ贈與相成タルモノニ有之候

昭和八年八月十九日

藏田周忠

402